

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・重度・重複学級・1グループ		担当者名	○上田 龍馬
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについての基礎的な原理・法則などを理解するとともに、表現する技能を身に付けるようにする。 (2)数量や図形などの性質を見いだし考察する力、事象を簡潔に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返って粘り強く考えたり、身近な生活に活用したりしようとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・7時間目・14:15～15:05 木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		2年A組教室			
年間授業時数		72.7 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑〔学研プラス〕			
月	単元(題材)名	指導時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	形をはめてみよう	6	○具体物を操作し、ものの類別や分類・整理をすることができる。 □プットイン課題、型はめ課題、色の分類課題、1対1対応課題に取り組み、形を観点に区別したり、関連の深い一対のものを組み合わせたりする。(知識・技能) □対象物に注意を向け、対象物の存在に気づき、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。(思考・判断・表現)	・関心のある事物の写真カードを使い、形を弁別する学習に取り組む。	
5	形を選ぼう	5.7	○様々な図形や国旗に興味や関心をもち、基礎的な色や形についての弁別をする。 □対象物の上下左右の形を捉え、同じ図形を選ぼうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) □図形を認識して、複数の中から適切な物を選ぶことができる。(思考・判断・表現)	・個別学習で、実態に応じてプットイン教材、線引きプリント教材を用いて、形を弁別する力を育てる。	
6	数の合成	9	○一桁の数字とドットを合成できる。 □ドットを活用し、2つの数を1つの数にまとめて表そうとしている。(思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)	・マグネットとドットの1対1対応操作を通じて、数字で記された数量だけマグネットを組み立てる学習に取り組む。	
7	数の分解	5	○一桁の数字とドットを分解できる。 □ドットを活用し、一つの数を二つの数に分けて表そうとしている。(思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)	・ドットより多いマグネットの1対1対応操作を通じて、マグネットが余ることから、数の分解について理解できるようにする。	
9	足し算や引き算をしよう	7	○マグネットを使って足し算や引き算に取り組むことができる。 □2つの数を比べて、大小の違いが分かる。(知識・技能) □具体物を加えたり、減らしたりしながら、意欲的に足し算や引き算の課題に取り組もうとしている。(思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	・2色のマグネットを使って2種類の数量を組み立て、符号に従い合成了り分解したりする。	
10	時計を読もう	7	○短針と短針の位置にある数字のマッチングができる。 □短針と短針の位置にある数字をマッチングし、時間を求めようとしている。(思考・判断・表現) □朝、昼、夜のおおまかな時間を知り、生活に役立てようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・授業の開始時間など身近な時刻の短針の位置を確認しながら、デジタル時計を手掛かりに時間を読もうとする。	
11		7		・2つの時計の短針の位置を確認しながら、デジタル時計を手掛かりに時間の前後を意識する。	
12	測ってみよう、比べてみよう	7	○身の回りの物の長さを測り、長さの違いが分かる。 □身の回りにおける具体物の長さに着目し、その違いが分かり、その対象の長さを測る。(知識・技能) □長さに着目し、2つの具体物に対して、どちらかを基準にして他方と比べる。 (思考・判断・表現)	・「長い」「短い」の言語表現や絵カードと合わせて、2種類の具体物の長さを比較できるようにする。	
1	量ってみよう、比べてみよう	4	○身の回りの物の重さを量り、重さの違いが分かる。 □身の回りにおける具体物の重さに着目し、その違いが分かり、その対象の重さを量る。(知識・技能) □身の回りにおける量に着目し、2つの具体物に対して、どちらかを基準にして他方と比べる。(思考・判断・表現)	・「重い」「軽い」の言語表現とや絵カードと合わせて、2種類の具体物の重さを比較できるようにする。	
2	買い物をしよう	8	○買い物をするためには金銭が必要なこと、様々な金種があることを知る。 □硬貨模型を用いて、金種と金額のマッチングをする。提示された金額を選択する。(知識・技能)	硬貨模型と商品の値札カードを準備し、視覚的に分かりやすいよう支援する。	
3		7	○予算内で買い物ができる。 □教員の支援を受けながら、商品の値段と金種をマッチングしようとしている。 (思考・判断・表現) □100円以内で買えるものをメニューから探そうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	硬貨模型と商品の値札カードを準備し、視覚的に分かりやすいよう支援する。	
備考		通年で、個別学習を並行して行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ 類型・2グループ		担当者名	○山科 勇人
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図について基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付ける。 (2)基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、数学で学んだことを身近な生活に生かそうとしている。			
曜日・校時・時間		月曜日・7時間目・14:15～15:05 木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		2年C組教室			
年間授業時数		72.7 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑〔学研プラス〕			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	数の合成と分解①	6	○数の概念や表し方について分かり、ものと数との関係に関心をもって関わることに ついての技能を身に付ける。 □具体物等を操作しながら、5までの数の大小を比較する。(知識・技能) □具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する。 (思考・判断・表現) □2つの数を1つの数にまとめてたり、1つの数を2つに分けたりして、表そうとしている。 (思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)	・0から5までの数を、カード、カ ラーボール等を用いて正確に数え 理解できるようにする。 ・視覚教材を用いて様々な数字の 組み合わせを考え、パターンを理 解できるようにする。	
5	数の合成と分解②	5.7			
6	計算しよう①	9	○10までの数の加法や減法が正確にできる。 □ボールやおはじきなどの具体物を用いて、10までの数の加法・減法ができる。(知識・ 技能) □1つの数を2つに分けたり、2つの数を1つの数にまとめてたりして表す。 (思考・判断・表現)	・具体物や数表を用いて理解を深 められるようにする。	
7	計算しよう②	5	○二桁の加法が正確にできる。 □ボールやおはじきなどの具体物を用いて、10までの数の加法・減法ができる。(知識・ 技能) □2つの数を1つの数にまとめて表す。(思考・判断・表現)	・10個1セットの具体物を用いて、 10のかたまりを理解できるように する。	
9	立体図形を作ろう	7	○縦、横、高さの数を数え、平面図と同じ形を作ることができる。 □14個の立方体の積み木を使い、平面図と同じ形を作ることができる。 (思考・判断・表現)	・縦、横、高さの数をそろえた形の 立体図形の模倣作業から取り組 んでいき、理解を深められるよう にする。	
10	今、何時①	7	○デジタル時計が示す時間を、正確に読んだり、書いたりすることができる。 □デジタル時計を読む。(知識・技能) □何時何分の「時」と「分」をしっかり意識して読み、書こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・カード等視覚教材を用いて、正 確に数字を読む作業から始めてい き、アナログ時計を照らし合わせる 形で理解を深められるようにす る。	
11	今、何時②	7	○長針と短針を意識して、30分単位の時刻を理解できる。 □アナログ時計の正時を読む。(知識・技能) □アナログ時計の半時を読む。(知識・技能)	・ICT機器を用いて、朝起きる時 間など、日常生活と関連付けて支 援する。	
12	今、何時③	7	○長針と短針を意識して、15分単位の時刻を理解できる。 □アナログ時計の長針が指す数字を読む。(知識・技能) □アナログ時計の短針が指す所を見て、時間を理解することができる。 (思考・判断・表現)	・ICT機器を用いて、朝起きる時 間など、日常生活と関連付けて支 援する。	
1	長さや重さをはかろう	4	○身の回りの物の長さや重さの量を測り、長さや量が分かる。 □身の回りにある具体物の長さや量に着目し、その違いが分かり、その対象の長さを測 る。(知識・技能) □長さや量に着目し、2つの具体物に対して、どちらかを基準にして他方と比べる。(思 考・判断・表現)	・測る(量る)対象物を複数用意 し、測定したいものを自ら決めるこ とで、学習意欲を高められるよう にする。	
2	買い物しよう	8	○金銭を用いて買い物をする素地を養う。 □指定された金額や品物に合わせて金銭を選ぶことができる。(知識・技能) □選んだ品物の値段から必要な金銭を考え、適した金銭を組み合わせ支払うことがで きる。(思考・判断・表現)	・電卓を用いて少額の商品の買い 物から始めていく。興味関心のある 商品を教材として複数用意し、 意欲を高められるようにする。	
3	買い物しよう	7	○金銭を用いて買い物をする素地を養う。 □指定された金額や品物に合わせて金銭を選ぶことができる。(知識・技能) □選んだ品物の値段から必要な金銭を考え、適した金銭を組み合わせ支払うことがで きる。(思考・判断・表現)	・電卓を用いて少額の商品の買い 物から始めていく。興味関心のある 商品を教材として複数用意し、 意欲を高められるようにする。	
備考		各単元において、プリント等を用いた個別学習の時間を設けていく。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ類型・3グループ		担当者名	○小松 悠太
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念を理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈し、数学的に表現することができる。 (2)具体的な操作をとおして、日常の事象を道筋を立てて考察したり、数学的な表現を用いて簡潔に表現したりすることができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・6時間目・13:20～14:10 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		2年D組教室			
年間授業時数		72.7 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑〔学研プラス〕			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	数を合わせてみよう	6	○数を正しく数える。また数が増えるイメージをもって、たし算を活用する。 □数唱しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □物と数を照合することができる。(思考・判断・表現) □足し算ができる。(知識・技能)	・数の合成分解を確認し、数を量として捉えられるようにする。	
5	得点を計算しよう	5.7	○2桁の数を正確に数える。得点が増えるイメージをもってたし算を活用できる。 □2桁を数唱できる。(主体的に学習に取り組む態度) □得点表を読んで合計得点を出すことができる。(思考・判断・表現)	・位取りが理解できるよう、シートを使って学習する。	
6	あげたらいくつ？	9	○数の増減のイメージをもって、足し算や引き算ができる。 □2人組になって、物を渡したりもらったりして増減を理解できる。(知識・技能) □増減した結果、手元に何がいくつあるのか発表しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・具体物を使い、手の中に隠したり見せたりしながら、数の増減がわかるようにする。 ・ドットを具体的に操作することで、足し算・引き算の概念が分かるようにする。	
7	はかってみよう、比べてみよう	5	○一番長いものと短いものが分かる。定規を使って、○cm丁度の長さが読める。 □数種類の中からどれが一番長いものと短いものを考えることができる。 (思考・判断・表現) □それぞれの長さをメジャーで測って読める。(知識・技能)	・長さの概念と単位が理解できるよう、身近にあるものをものさして計る・長さの測り方の基本を物差しを使って伝える。	
9		7	○重さや量の概念を育成し、それぞれの違いが分かる。 □どれが一番重いのか予想して、秤で量ることができる。(思考・判断・表現) □ペットボトルに水を入れて秤で重さを量り、計量カップで量を量れる。 (知識・技能)	・重さや量の概念が分かるように、具体的に計りや軽量カップを使って図る経験を積む。	
10	買い物をしよう	7	○簡単な金種を組み合わせて、いくらになるか分かる。 □疑似硬貨や紙幣を使って、金額を計算できる。(知識・技能)	・模擬貨幣とシートを使い、3桁までの位取りが理解できるようにする。	
11		7	○買い物の流れを知り、支払いに必要なお金を準備できる。 □買い物のロールプレイしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □支出や残金を小遣い帳に記せる。(知識・技能)	・1品だけを選んで買い、価格とおつりを位取りのボードに置いて、プリントに転記する。	
12	時計を読もう	7	○長針と短針を意識して○時と○時30分を理解できる。 □アナログ時計の正時を読める。(知識・技能) □アナログ時計の半時を読める。(知識・技能)	・短針の位置で時間を読み取る学習を繰り返し行う。次に長針の位置を確認し、判時の読みとりができるようにする。	
1		4	○長針と短針を意識して○時15分と○時45分を理解できる。 □アナログ時計の長針が指す数字を読める。(知識・技能) □アナログ時計の短針が指す所を見て、時間を理解できる。(知識・技能)	・長針を15分の位置に固定して繰り返し読み取りを行う。次に長針を45分の位置に固定して繰り返し行う。	
2	1年間のまとめ	8	○計算(たし算・ひき算)、比較や計測(長さ、重さ、量)、お金、時間の復習を行い、学習の定着を図る。 □計算問題を解ける。(知識・技能) □長さや重さ、量の比較することができる。(思考・判断・表現) □買い物のロールプレイをしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □時計を読んで時刻を答えられる。(知識・技能)	・ドットカードやドットのアプリを使い、実際にドットの動きを見て、足し算や引き算の概念を確認する。 ・位取りの意識ができるよう、位取りボードを使用する。	
3		7		・タブレットのアプリで金種を確認し、位取りを意識してお金の操作ができるようにする。 ・実際に模擬時計を指定された時間に動かして確認する。	
備考		各単元において、プリント等を用いた個別学習の時間を設けていく。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ類型・4グループ		担当者名	○小谷 真樹子
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念を理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈し、数学的に表現することができる。 (2)数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり、目的に応じて柔軟に表すことができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・6時間目・13:20～14:10 木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		2年F組教室			
年間授業時数		72.7 時間			
使用教科書		さわって学べる算数図鑑〔学研プラス〕			
月	単元(題材)名	指導時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	計算しよう	6	○基本的な計算力を身に付け、身近な生活での活用の仕方を知る。 □繰り上がりのある足し算の問題に取り組める。(知識・技能) □100からの引き算の問題に取り組める。(知識・技能) □2桁×1桁の問題に取り組める。(知識・技能)	・導入として電卓を使用し、難しい問題を正当した経験を積むことで意欲を高められるようにする。	
5	表の読み方を知ろう	5.7	○得点のつけ方や累計の仕方を知る。また表の読み方を知る。 □表を読み、合計得点を算出することができる。(思考・判断・表現)	・身近な題材をテーマとしたグラフを提示し、棒グラフ、線グラフ等、各グラフの使い分けを理解できるようにする。	
6	はかってみよう、比べてみよう	9	○メジャーを使って長さを測ることができる。 □1m以上の物の長さをメジャーで測れる。(知識・技能) □測定した長さを比較することができる。(思考・判断・表現)	・測る対象物を複数用意し、測定したいものを自身で決めることで、学習意欲を高められるようにする。	
7		5	○場面に応じて秤を使い分けすることができる。 □様々な種類の秤があることを知る。(知識・技能) □どの秤を使うことが適しているのか考え、実践することができる。(思考・判断・表現)	・量る対象物を複数用意し、測定したいものを自身で決めることで、学習意欲を高められるようにする。	
9		7	○計量カップを使って正確な量を量ることができる。 □1ℓのペットボトルから目分量で人数分のコップに分けようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □コップに入れた水を量れる。(知識・技能) □同じ分量になるように、計算して水を入れることができる。(思考・判断・表現)	・実際に計量カップを使用する場面を説明し、生活に関連付けて理解が深まるよう支援する。	
10	買い物をしよう	7	○おつりのある払い方を知る。 □およそいくらになるのか考えることができる。(思考・判断・表現) □おつりを計算できる。(知識・技能)	・学習プリントを使用し、少額の買い物を想定した計算問題から取り組みを始めていく。	
11		7	○予算内で買い物ができる。 □決められた予算の中で買えるものをメニューから選ばようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □小遣い帳に残金を記入できる。(知識・技能)	・生徒個々の興味関心に沿ったメニューを提示し、主体的に学習に取り組めるようにする。	
12	行動計画を立てよう	7	○時間の計算ができる。 □出発した時刻と到着した時刻から、所要時間を計算できる。(知識・技能) □出発した時刻と所要時間から、到着時刻を計算できる。(知識・技能) □到着したい時刻と所要時間から、出発時刻を計算できる。(知識・技能)	・現場実習等、実際に経験したことから出発時刻等の計算をはじめ、実生活と絡めた学習を行っていく。	
1		4	○行動の計画を立てることができる。 □ICT機器を用いて、1日の行動計画を立てようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・電車乗り継ぎアプリ、地図アプリ等、様々なアプリケーションを使い分けながら学習を進めていく。	
2	1年間のまとめ	8	○1年間のまとめをし、定着を図る。 □四則計算の問題に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □長さや重さ、量のはかり方を振り返ろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・メジャー、秤、計量カップ等の機器の使い分けをICT機器を用いて学習していく。	
3		7	□予算内で買い物をし、おつりを計算できる。(知識・技能) □時間の計算をすることができる。(思考・判断・表現)	・電卓を用いて、高額の買い物を正確に行えるよう、反復学習を行っていく。	
備考		単元において、プリント等を用いた個別学習の時間を設けていく。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅱ類型・5グループ		担当者名	○笠 公輔
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念を理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈し、数学的に表現する。 (2)数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり、目的に応じて柔軟に表したりする。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養う。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		2年E組教室			
年間授業時数		36.0 時間			
使用教科書		改定新版くらしに役立つ数学(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	計算しよう	3	○基本的な計算力を身に付け、身近な生活での活用の仕方を知る。 □繰り上がりのある足し算の問題に取り組める。(知識・技能) □100からの引き算の問題に取り組める。(知識・技能) □2桁×1桁の問題に取り組める。(知識・技能)	・導入として電卓を使用し、難しい問題を正当した経験を積むことで意欲を高められるようにする。	
5	表の読み方を知ろう	3	○得点の付け方や累計の仕方を知る。また表の読み方を知る。 □表を読み、合計得点を算出することができる。(思考・判断・表現)	・身近な題材をテーマとしたグラフを提示し、棒グラフ、線グラフ等、各グラフの使い分けを理解できるようにする。	
6	はかってみよう、比べてみよう	5	○メジャーを使って長さを測ることができる。 □1m以上の物の長さをメジャーで測れる。(知識・技能) □測定した長さを比較することができる。(思考・判断・表現)	・測る対象物を複数用意し、測定したいものを自身で決めることで、学習意欲を高められるようにする。	
7		2	○場面に応じて秤を使い分けことができる。 □様々な種類の秤があることを知る。(知識・技能) □どの秤を使うことが適しているのか考え、実践することができる。(思考・判断・表現)	・量る対象物を複数用意し、測定したいものを自身で決めることで、学習意欲を高められるようにする。	
9		3	○計量カップを使って正確な量を量ることができる。 □1ℓのペットボトルから目分量で人数分のコップに分けようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)□コップに入れた水量を量ることができる。(知識・技能)□同じ分量になるように、計算して水を入れることができる。(思考・判断・表現)	・実際に計量カップを使用する場面を説明し、生活に関連付けて理解が深まるよう支援する。	
10	買い物をしよう	4	○おつりのある払い方を知る。 □およそいくらになるのか考えることができる。(思考・判断・表現) □おつりを計算できる。(知識・技能)	・学習プリントを使用し、少額の買い物想定した計算問題から取り組みを始めていく。	
11		4	○予算内で買い物ができる。 □決められた予算の中で買えるものをメニューから選ばようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □小遣い帳に残金を記入できる。(知識・技能)	・生徒個々の興味関心に沿ったメニューを提示し、主体的に学習に取り組めるようにする。	
12	行動計画を立てよう	3	○時間の計算ができる。 □出発した時刻と到着した時刻から、所要時間を計算できる。(知識・技能) □出発した時刻と所要時間から、到着時刻を計算できる。(知識・技能) □到着したい時刻と所要時間から、出発時刻を計算できる。(知識・技能)	・現場実習等、実際に経験したことから出発時刻等の計算をはじめ、実生活と絡めた学習を行っていく。	
1		1	○行動の計画を立てることができる。 □ICT機器を用いて、1日の行動計画を立てようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・電車乗り継ぎアプリ、地図アプリ等、様々なアプリケーションを使い分けながら学習を進めていく。	
2	1年間のまとめ	4	○1年間のまとめをし、定着を図る。 □四則計算の問題に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □長さや重さ、量のはかり方を振り返ろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・メジャー、秤、計量カップ等の機器の使い分けをICT機器を用いて学習していく。	
3		4	○予算内で買い物をし、おつりを計算できる。(知識・技能) □時間の計算をすることができる。(思考・判断・表現)	・電卓を用いて、高額の買い物を正確に行えるよう、反復学習を行っていく。	
備考		単元において、プリント等を用いた個別学習の時間を設けていく。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅱ類型・ 6グループ		担当者名	○笠 公輔
教科・領域名		数学			
ね ら い		(1)数量や図形などについての基礎的な概念などを理解するとともに、数学的に解釈したり表現したりしようとする。 (2)数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表すことができる。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考える態度や数学を学習や生活に活かそうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		学習室			
年間授業時数		36.0 時間			
使用教科書		改定新版くらしに役立つ数学(東洋館出版社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	計算しよう	3	○正確に計算できるようになる。 □タブレット端末のアプリを用いて100マス計算ができる。(知識・技能) □アプリ上に蓄積されたデータから、得意・不得意を知ろうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	・様々な計算問題に取り組み計算に慣れるようにする。日常生活に関する数量について考える。	
5	距離を求めよう	3	○地図から実際の距離の求め方を知る。 □定規を使って正確な距離を求められる。(知識・技能) □定規で出した距離から、交通手段を考えることができる。 (思考・判断・表現)	・地図上の長さを基にして、実際の距離を求められるようにする。	
6	時間の計算をしよう	5	○時計を読み取り、時間の計算ができる。 □出発した時刻から到着した時刻を考え、所要時間を計算することができる。(思考・判断・表現) □出発した時刻と所要時間から、到着時刻を計算することができる。(思考・判断・表現) □到着したい時刻と所要時間から、出発時刻を考えることができる。(思考・判断・表現)	・時刻の計算問題に取り組む。具体的な行先と交通手段を自分で考えられるように、料金表などを準備する。	
7	所要時間を調べよう	2	○集合時間や集合場所、使用する交通機関が分かる。 □タブレット端末を使って、実習先への行き方と所要時間を調べようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) □所要時間から、何時に家を出れば良いのか計算することができる。 (思考・判断・表現)	・具体的な行先と交通手段を活用して、自分で考えて計算をできるようにする。 ・時間の逆算に関する計算を行う。	
9	グラフを作成しよう	3	○グラフの種類や用途を知り、適切なグラフを選んで作成できる。 □棒グラフの用途と作成方法を知る。(知識・技能) □折れ線グラフの用途と作成方法を知る。(知識・技能) □円グラフの用途と作成方法を知る。(知識・技能)	・主要なグラフとその特徴について示す。 ・数値を読み取りグラフを作成する場面を設定する。	
10	図形を書こう	4	○図形の分類や書き方を知り、指定された条件を全て満たすように図形を書ける。 □どのような図形があるのか調べようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) □指示された通りに図形を書くことができる。(思考・判断・表現)	・図形の基本と作図の仕方について確認をする。身の周りにある物の形を調べる。作図の場面を設ける。	
11	お金の計算をしよう	4	○割り勘、割引など、日常生活に必要なことを知る。 □ロールプレイで割り勘や割引の計算をすることができる。 (思考・判断・表現)	・金銭を使う場面や金銭の関わる内容を示す。必要に応じて電卓を使用する。	
12	家計簿をつけよう	3	○家計簿の付け方を知る。 □手帳型の家計簿に記入できる。(知識・技能) □アプリの家計簿に入力できる。(知識・技能)	・金銭の管理方法を知り、月ごとの収支についてまとめることができるようにする。	
1	少数の計算をしよう	1	○小数を理解し、簡単な計算を身に付ける。 □図を見て小数で表すことができる。(思考・判断・表現) □計算問題に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・小数点を揃えて計算できるように配慮する。演習問題に取り組む時間を設定する。	
2	分数の計算をしよう	4	○分数を理解する。分数の簡単な計算を身に付ける。 □図を見て分数で表すことができる。(思考・判断・表現) □計算問題に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・必要に応じて同じ分母にまとめて計算できるようにする。	
3	1年間のまとめ	4	○年間を通して取り組んだ学習を振り返る。 □お金の計算できる。(知識・技能) □時間の計算できる。(知識・技能)	・様々な数量や時刻に関する計算問題に取り組めるよう支援する。	
備考					